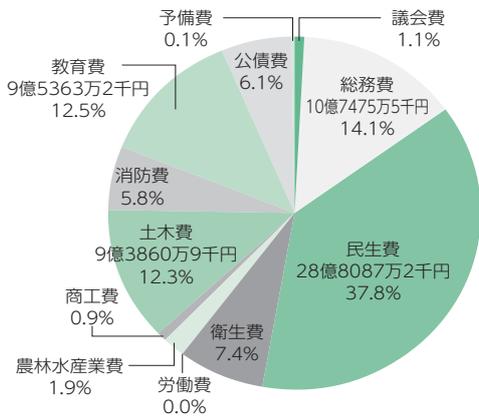


総額124億440万円

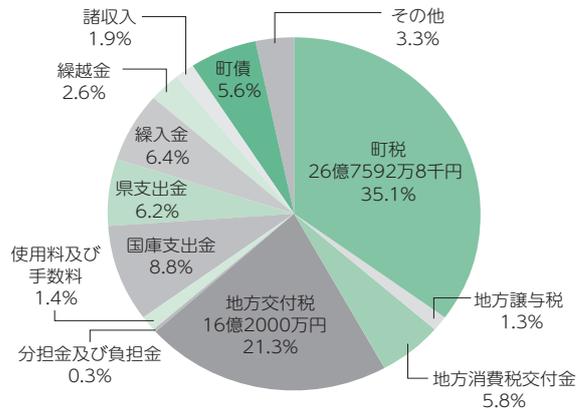
いまちごうど

一般会計予算76億2000万円の内訳

歳出



歳入



令和6年第1回定例議会は、3月4日から14日まで、11日間の会期で開かれた。開会日は、一般会計補正予算（第6号）ほか24議案が提案され、うち、5議案を可決し、そのほかは各委員会において審査を行った。13日に一般質問を行い、最終日は4議案を追加して審議し、いずれも原案どおり可決・同意して閉会した。

令和6年度一般会計予算を可決

令和6年度予算は、各委員会で細部にわたる審査を経た後、全会一致で可決した。

「住み続けたいまち「ごうど」をコンセプトとして、幸せを感じることができ、笑顔あふれるまちづくりをすすめるために、

- ①子育て環境の充実
 - ②生活環境の強靱化
 - ③寄り添う支援の充実
 - ④ゼロカーボンシティへの挑戦
 - ⑤まちの魅力アップ
 - ⑥新しい役場づくりの6つの政策の柱を重点に置き、予算が編成された。
- 一般会計では、(仮称)「ごうど児童館改修事業、

神戸小学校屋内運動場改修事業、幼稚園、小・中学校給食費無償化事業、放課後児童クラブ運営民間委託事業、中央公民館大規模改修工事詳細設計業務委託事業、エコプラザ「ごうど」建設事業、元気な園芸農業サポート補助金事業、下宮テニスコートトイレ等改修事業等が盛り込まれた。

総額76億2000万円となり、前年度当初予算と比較して、10.6%の増額となり、過去最大規模となる予算となっている。

業者の選定は、プロポーザル型の選考を予定としており、建築面積等は環境ボランティア団体の代表者や、利用される方々の意見をお聞きし、決定していく予定である。

一般会計予算に関するQ&A

宮川一美議員

(1) エコプラザ「ごうど」移転に向けた廃棄物減量化等推進協議会の進捗状況は。

(2) 設計業者の選定方法と、施設の規模は。

A 産業建設部調整監

(1) 廃棄物減量化等推進協議会は、令和5年度に4回実施した。廃棄物基本処理計画を策定したため、公表に向けて進めているところである。

A 総務部長・産業建設部調整監

(2) 業者の選定は、プロポーザル型の選考を予定としており、建築面積等は環境ボランティア団体の代表者や、利用される方々の意見をお聞きし、決定していく予定である。

令和6年度予算を可決

「住み続けた」

基本方針

① 子育て環境の充実

- (仮称)ごうど児童館改修事業…………… 1億 8730万円
- 神戸小学校屋内運動場改修事業…………… 1億 5180万円
- 幼稚園、小・中学校給食費無償化事業…………… 1億 900万円



② 生活環境の強靱化

- 防災行政無線（同報系）設備更新事業…………… 1億 4925万円
- 西座倉土地区画整理組合補助事業…………… 1億 4000万円
- 中央公民館大規模改修工事詳細設計業務委託事業…………… 1170万円
- 木造住宅耐震補強補助事業…………… 950万円



その他の主な事業

- エコプラザごうど建設事業…………… 2100万円
- 元気な園芸農業サポート補助金事業…………… 1000万円
- 元気な中小企業・小規模事業者サポート補助金…………… 200万円
- 高齢難聴者補聴器購入助成事業…………… 100万円
- 次世代自動車購入費補助金事業…………… 100万円



予算の規模

会計区分	令和6年度	令和5年度	対前年度比較		
			増減額	増減率	
一般会計	76億 2000万円	68億 9000万円	7億 3000万円	10.6%	
特別会計	国民健康保険	21億 1500万円	21億 9500万円	△ 8000万円	△ 3.6%
	後期高齢者医療	3億 6300万円	3億 4600万円	1700万円	4.9%
	障がい福祉サービス事業	6100万円	5600万円	500万円	8.9%
	学校給食事業	1億 2700万円	1億 2800万円	△ 100万円	△ 0.8%
水道事業会計	3億 4790万円	3億 4130万円	660万円	1.9%	
下水道事業会計	17億 7050万円	13億 1400万円	4億 5650万円	34.7%	
総額	124億 440万円	112億 7030万円	11億 3410万円	10.1%	

副町長に金指義樹さんを選任



かなざし よしき 金指 義樹 さん

令和4年から空席となっていた副町長に前総務部長の金指義樹さん（栄町）を選任するとに同意した。
任期は令和6年4月1日から4年間である。

議員提出議案

議会議員の請負の状況の公表に関する条例の制定

これまで、議員個人と町との請負が認められていなかったが、地方自治法の一部改正等により、300万円までは、規制の対象から除かれることとなった。

そのため、議会議員の町に対する請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の公正及び、事務の執行の適正を図るため、必要な事項を定めた。

人権擁護委員候補者の推薦に同意

法の規定により、人権擁護委員は、市町村長が議会の意見を聞いて候補者を推薦し、法務大臣が委嘱することとされている。

このたび、令和6年6月30日をもって任期満了となる田中恵子さん（田）野村茂治さん（南）を、引き続き委員候補者として推薦することに同意した。

令和5年度一般会計補正予算（第6号） 2億7450万円を追加

令和5年度一般会計予算は、歳入歳出それぞれ2億7450万円が追加され、総額7億3100万円となった。

歳出の主なものは、財政調整基金に2億1914万円、ふるさと納税基金に4800万円をそれぞれ積立て、そのほかには物価高騰対応重点支援給付金関係経費として7860万円を計上した。また、9月に2200

万円の増額補正をした人件費については、今回3250万円の減額補正を行い、当初予算と比較して、1050万円の減額となった。

これに対する歳入は、地方交付税1億2658万6千円、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金事業費及び事務費補助金7860万円、ふるさと納税寄付金4800万円等である。

令和6年度各特別会計・水道事業会計予算、下水道事業会計予算を可決

特別会計のうち、後期高齢者医療特別会計は、前年度当初予算と比較して被保険者数の増加等が見込まれるため、全体では4.9%増額の3億6300万円となった。

また、下水道事業会計

は、令和6年度から企業会計に移行することに伴い、資産として減価償却費を計上したことにより、前年度当初予算と比較して34.7%増額の17億7050万円となった。

その他の議案

- ・ 令和5年度各特別会計補正予算（国民健康保険、後期高齢者医療、障がい福祉サービス事業、公共下水道事業）
- ・ 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
- ・ 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用及び特定個人個人情報提供に関する条例の一部改正
- ・ 監査委員条例の一部改正
- ・ 職員の育児休業等に関する条例の一部改正
- ・ 職員の給与に関する条例の一部改正
- ・ 会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正
- ・ 国民健康保険税条例の一部改正
- ・ 放課後児童クラブの設置等に関する条例の一部改正
- ・ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
- ・ 企業立地促進条例の一部改正
- ・ 消防団員等公務災害補償条例の一部改正
- ・ 町道路線の認定を審議し、原案どおり可決した。
- ・ 町道路線の変更